

令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））  
の採択結果等について

採択地区名 呉市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元・教材の目標だけでなく、教材末にも目標を意識させる工夫がある。また、教材末だけでなく資料編に「広がる言葉」を設定し、語彙が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 課題解決的な学習のための工夫があり、他の教材・教科や生活に生かせるようになっている。また、学習の支援等が丁寧に示されているため、学習の見通しをもたせやすい。</li> <li>○ 学習の手引きに、図表の効果だけでなく取り入れ方を考えさせる課題が示されており、本文と図表との関連について考えさせる工夫がある。</li> </ul>
書 写	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「多様な文字」のコーナーがあり、身近にあるさまざまな文字に関心をもたせる工夫がある。また、振り返りの観点とともに、チェック欄が示され、自己評価させるための工夫があり、主体的な学習を促しやすい。</li> <li>○ 楷書・行書ともに、点画の部分的な写真やイラストを使って、筆使いのポイントが示されており、視覚的に分かりやすい。</li> <li>○ 学校行事や学習活動、日常生活と結び付けやすい場面設定のもと、学習の流れに沿った言語活動例が豊富に示されている。</li> </ul>
社 会 (地理的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料やグラフの読み取り方や調査活動の仕方、コンピュータ等の活用について、学習の基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫がある。</li> <li>○ 大単元の導入において、生徒の興味・関心を高める工夫があり、広島県に関する資料も豊富である。</li> <li>○ 調査テーマを決めるための準備を大切にした手順や方法があり、見通しをもって問題解決的な学習を進めるための工夫がある。</li> </ul>
社 会 (歴史的分野)	育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化遺産を紹介するコーナーが充実するなど、我が国の国土や歴史に対する理解や愛情を深める工夫がある。</li> <li>○ 日本と世界の主な関連を説明したコーナーが設けられるなど、我が国の歴史と世界の歴史を結び付けて考えるための工夫がある。</li> <li>○ 各章のはじめに、「歴史絵巻」が設定されており、歴史の大きな流れを見通すための工夫がある。</li> <li>○ 各時代区分の教材数のバランスがよく、具体例も多いので、生徒の実態にあわせて資料を選択し活用させやすい。</li> </ul>

<p>社 会 (公民的分野)</p>	<p>育鵬社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「対立と合意」「効率と公正」についての理解をうながすページが設けられるなど、現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための工夫がある。また、文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 課題探究の手順が具体例とともに示されるとともに、作業的・体験的な学習の事例数も豊富に掲載されており、主体的な学習につながる効果的な学習展開が示されている。</li> <li>○ どの大項目にも、補充的・発展的な教材が多数、バランスよく配置されており、生徒の実態にあわせて選択し活用させやすい。</li> </ul>
<p>地 図</p>	<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図を見る目」のコーナーに地図を見るとき viewpoint, 「やってみよう」のコーナーに地図の活用方法が示されており、生徒の興味・関心を高める工夫が充実している。</li> <li>○ 「この地図帳の使い方」で、地図や資料の活用だけでなく、地図を活用した調べ方の具体が示されており活用しやすい。</li> </ul>
<p>数 学</p>	<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決的な学習内容が十分設定され、日常生活等における事象に係わる題材も扱われており、生徒に興味・関心をもって学習に取り組ませる工夫がある。</li> <li>○ 問題を解くための手順やヒントの設定数が多く、次節につながるような問いが各節の終わりに設けられており、生徒に次の学習へのつながりを意識させるための工夫がある。</li> <li>○ ノート指導やレポート作成のための注意点等が具体的に示されており、生徒に自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。</li> </ul>
<p>理 科</p>	<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観察、実験の手順に加え、目的が具体的に示されており、生徒は目的を明確にして調べることができる。</li> <li>○ 学習の進め方では、仮説を立てることで、目的意識をもって取り組むことができる。また、探究的な学習過程のうち、結果と考察の過程が分けられているため、「事実」と「考えたこと」を分けて示すことができる。</li> <li>○ 考察文の記述では、必要に応じて補助的な視点が示されており、考察の視点が具体的である。</li> </ul>
<p>音 楽 (一般)</p>	<p>教芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統的な歌唱の扱いについて、鑑賞の領域と組み合わせ、系統的に扱われている。特徴が捉えやすい絵譜等で分かりやすく掲載されており、独特な発声や節回しの特徴を捉えて表現するための工夫がある。</li> <li>○ 全学年に、学習内容と教材の関連が見通せる「音楽学習 MAP」が示されており、題材と題材のつながりも関連付けてあることで、それぞれの教材で何を学習するのかを生徒に意識させる工夫がある。</li> <li>○ 鑑賞教材の楽譜について、特徴的な旋律や主題等の音</li> </ul>

		<p>符の色を変えたり，楽譜上に色の付いた帯を付けたりして，生徒に着目させるための工夫がある。</p>
<p>音 楽 (器楽合奏)</p>	<p>教芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルトリコーダー等の導入については，専門家の演奏写真と「楽器の音色を聴いてみよう」や「楽器を知ろう」のコーナーがあり，構造や種類，姿勢と構え方，基本的奏法等について写真や絵，説明が掲載されており，分かりやすい。</li> <li>○ 楽器の構え方や姿勢，タンギングや弦の弾き方，ばちの持ち方等について，違う角度から見た複数の写真や違う色を付けた線や図，言葉等を効果的に使って，分かりやすく説明されている。</li> <li>○ 「アンサンブル」では，掲載曲全てに，各楽曲にふさわしい演奏をするためには，どのように考えて何を工夫すべきかのヒントが示されており，生徒に表現意図をもたせるための工夫がある。</li> </ul>
<p>美 術</p>	<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的な技法や知識等に関する資料が多く，詳しく説明されており，作品の理解を深めるための工夫が充実している。</li> <li>○ 発想や構想を練る際のヒントとともに，作品の制作者がイメージしたことや工夫したことについても示されており，生徒の発想や構想を促すための工夫が充実している。</li> <li>○ 鑑賞を深めるための話合いの視点が明確に具体的な言葉で掲載されており，参考にしやすい。</li> </ul>
<p>保健体育</p>	<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標が明確に示されており，目標を意識して取り組みやすい。また，理解度について自己評価をし，学習内容について再確認することができる。</li> <li>○ 毎時間，学習の流れの中に課題が提示されており，考えたり，話し合ったりすることができる工夫がある。また，写真や説明文など資料が豊富であり生徒の興味・関心を高め，実生活に生かすことができる工夫がある。</li> <li>○ 実習に関連した写真，挿絵などが掲載され，手順や方法が説明されている。また，心肺蘇生の写真が大きく掲載され，実習の具体例も多く示されており，活用しやすい。</li> </ul>
<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のまとめりごとに，学習内容に関する問いかけが掲載されており，主体的な学習につなげるための工夫がある。</li> <li>○ 学習内容の理解を助けたり，深めたりすることができるように写真，イラスト，図等が掲載され，工具や道具の使用方法について，押したり引いたり，回したりする方向へ矢印が記載されており，視覚的に理解しやすい。</li> <li>○ 学習後の評価・活用については，学んだことを振り返り，多角的に評価と活用について考えることができる工夫がある。</li> </ul>

<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 循環型社会について, 図や写真を用いて示されており, 環境に配慮した生活スタイルがイメージしやすい。</li> <li>○ 巻頭ガイダンスだけでなく, 巻末にも問題解決的な学習の流れが具体的に図で示されており, 学校や家庭での実践につなげやすい工夫がある。</li> <li>○ 調理や製作の実習についての手順が, 左から右に時間の流れに沿って表記してあり, 視覚的に分かりやすい。</li> </ul>
<p>英 語</p>	<p>三省堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトルページの写真等をもとにコミュニケーション活動を設定しやすい。また, 入門時に外国語活動と同様の活動が設定され, アルファベットを並べ替えて単語を作るなど, 書くことへもスムーズに移行できる工夫がある。</li> <li>○ モデルを練習した後に自己表現する活動が設定されるなど, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための工夫がある。</li> <li>○ 多様な活動形態や活動内容が掲載され, 生徒の実態に応じて効果的な授業展開を工夫しやすい。また, まとまりのある英文を読んだり書いたりする活動が充実している。</li> </ul>